

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 10 月 1 日 (2020.10.1)

【公開番号】特開 2018-102327 (P2018-102327A)

【公開日】平成 30 年 7 月 5 日 (2018.7.5)

【年通号数】公開・登録公報 2018-025

【出願番号】特願 2016-248718 (P2016-248718)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 2 B

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 8 月 24 日 (2020.8.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球を検知する所定検知手段と、  
前記所定検知手段と電気的に接続され、遊技に対する遊技価値を付与するための処理を  
実行する遊技価値付与手段と、  
前記遊技価値付与手段と電気的に接続され、所定の処理を実行する処理実行手段と、  
を備える遊技機において、  
前記遊技価値付与手段は、  
前記遊技価値を付与するための処理に用いられる情報であって、前記所定検知手段の検  
知に対して参照される情報である参照用情報を記憶する第 1 参照用情報記憶手段と、  
本遊技機への電力の所定の供給が開始された後であって遊技を進行させるための所定処  
理の実行を開始する前に、前記第 1 参照用情報記憶手段に記憶されている前記参照用情報  
に対応した参照用情報信号を前記処理実行手段に対して送信する第 1 送信手段と、  
前記所定検知手段による検知に基づいて取得された情報である入球情報に基づく所定情  
報信号を前記処理実行手段に対して送信する第 2 送信手段と、  
を備えていることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

ここで、上記例示等のような遊技機においては遊技が好適に行われる必要がある、この  
 点について未だ改良の余地がある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

本発明は、上記例示した事情等に鑑みてなされたものであり、遊技が好適に行われるようにすることが可能な遊技機を提供することを目的とするものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

上記課題を解決すべく請求項 1 記載の発明は、遊技球を検知する所定検知手段と、前記所定検知手段と電氣的に接続され、遊技に対する遊技価値を付与するための処理を実行する遊技価値付与手段と、

前記遊技価値付与手段と電氣的に接続され、所定の処理を実行する処理実行手段と、を備える遊技機において、

前記遊技価値付与手段は、

前記遊技価値を付与するための処理に用いられる情報であって、前記所定検知手段の検知に対して参照される情報である参照用情報を記憶する第 1 参照用情報記憶手段と、

本遊技機への電力の所定の供給が開始された後であって遊技を進行させるための所定処理の実行を開始する前に、前記第 1 参照用情報記憶手段に記憶されている前記参照用情報に対応した参照用情報信号を前記処理実行手段に対して送信する第 1 送信手段と、

前記所定検知手段による検知に基づいて取得された情報である入球情報に基づく所定情報信号を前記処理実行手段に対して送信する第 2 送信手段と、を備えていることを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

本発明によれば、遊技が好適に行われるようにすることが可能となる。